

1. 事業名	落語と絵本のアニューアレ～三題噺王決定戦～
2. 事業内容	上方落語協会所属の若手噺家12名が新作三題噺を披露し、そこから着想を得て制作された「はなし画」を絵本にする、夢を追いかけるコミュニティのイベント。 1stラウンドは9月23日大淀コミュニティセンターで開催し、年齢を問わず約300名の聴衆が訪れ大いに盛り上がりを見せ、決勝進出6名の落語家を選んだ。「はなし画」は審査員によるリモート審査を実施し、各三題噺に対応した全6作品を選定、それら優秀作品は「記念画集」に収めた。翌1/30には天満天神繁昌亭で「三題噺王決定戦」が開催され、三題噺王を決定し表彰するとともに、「はなし画」作者の表彰式も同時開催した。
3. 実施日 実施場所	○令和7年9月23日(火・祝) 「落語と絵本のアニューアレ～三題噺王決定戦1stラウンド～」 (実施場所：大淀コミュニティセンター ホール) ○令和8年1月30日(金)「落語と絵本のアニューアレ～三題噺王決定戦～」 (実施場所：天満天神繁盛亭)
4. 来場人数	延べ約300名
5. 出演・審査・協力など (敬称略)	☐ 公益社団法人上方落語協会会長・笑福亭仁智 ☐ 林家染吉/桂あおば/桂福枝/桂慶治朗/桂三実/笑福亭笑利/露の新幸/桂健枝郎/月亭希遊/桂笑金/桂八十助/笑福亭笑有 ☐ 笑福亭仁智/大阪大学名誉教授・橋爪節也/川柳作家・大西泰世/大阪大学総合学術博物館研究支援推進員・波瀬山祥子/絵本アナリスト・西川稔/関西テレビ放送株式会社・水戸徹/天満天神繁昌亭マネージャー・關英栄 ☐ 大道意匠研究舎/株式会社シンカ・コミュニケーションズ
6. 次年度の展望	令和7年度限りで終了の運びとなった。

添付資料① 当日写真

「落語と絵本のアンヌアーレ～三題噺王1st ラウンド～」(9月23日@大淀コミュニティセンター)





＜「落語と絵本のアンヌアーレ～三題噺王 決勝ラウンド～」(1月30日@天満天神繫昌亭＞



< 「はなし画」 表彰式（1月30日@天満天神繁盛亭） >





落語と絵本のアニュアルレ

三題噺王 決定戦

1stラウンド

落語と絵本のアニュアルレ
公式HP: 

【総合プロデューサー】笑福亭 仁智

2025年

9/23(火)

13:00~16:00ごろ

(12:30開場)

会場：大淀コミュニティセンター
(大阪市北区本庄東3-8-2)

観覧無料

観覧にはお申込みが必要です。
必ず事前にお申込みください。



左記の二次元バーコードより、
手順に沿ってお申込みください。

＜お申込みページ＞

<https://teketo.jp/4078/52312>

＜受付期間＞

7月24日 0:00 ~ 9月23日 0:00

※未就学児のご入場はお断りします。

※定員に達し次第、受付を終了します。

主催：(一財) 大阪市コミュニティ協会/共催：(公社) 上方落語協会・天満天神繁昌亭

【お問合せ先】 info@annuale.net

※メールでのみ受付します

2025年9月23日開催の「1st ラウンド」
 決勝進出者による**決勝戦**！
 はなし画コンテスト表彰式も同時に開催！出演順は当日抽選にて決定します。



落語と絵本の**ア**ニユアーレ



三題 決定戦 噺王 決勝ラウンド

【総合プロデューサー】上方落語協会会長 笑福亭仁智

2026 年

1 月 30 日 (金)
18:00 ~ (17:30 開場)

会場：天満天神繁昌亭 (大阪市北区天神橋 2-1-34)

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

●天満天神繁昌亭(大阪市北区天神橋2-1-34)



●大阪メトロ谷町線／堺筋線「南森町駅」④・⑥出口
 ●JR東西線「大阪天満宮駅」⑦番出口 各徒歩3分

前売 ¥2,500
当日 ¥3,000

【全席指定・税込】

【前売券のお求めは】

チケットぴあ Pコード 597-700

(セブンイレブン・t.pia.jp)

繁昌亭チケット窓口 (11:00-19:00 窓口販売のみ)

※2025年12月1日(月)より発売

チケット・会場に関するお問合せ：天満天神繁昌亭 ☎06-6352-4874

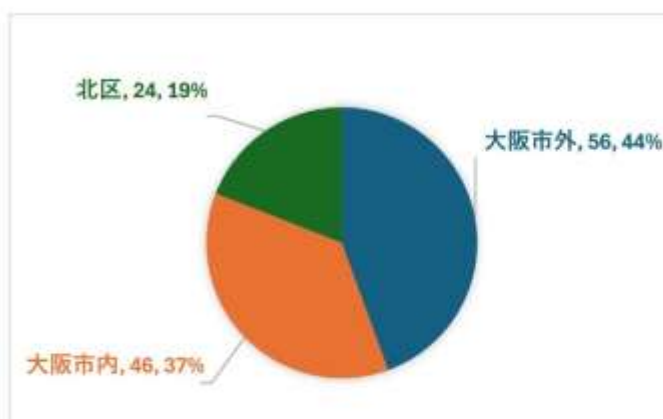
主催：(公社) 上方落語協会・天満天神繁昌亭 共催：(一財) 大阪市コミュニティ協会

【 落語と絵本のアニュアルレ 2025 三題噺王決定戦 1st ラウンド 】
アンケート結果

1 あなたの年齢は	
20歳代	3
20歳未満	17
30歳代	4
40歳代	16
50歳代	29
60歳代	30
61歳代	1
70歳代	20
71歳代	1
80歳代以上	3
総計	124

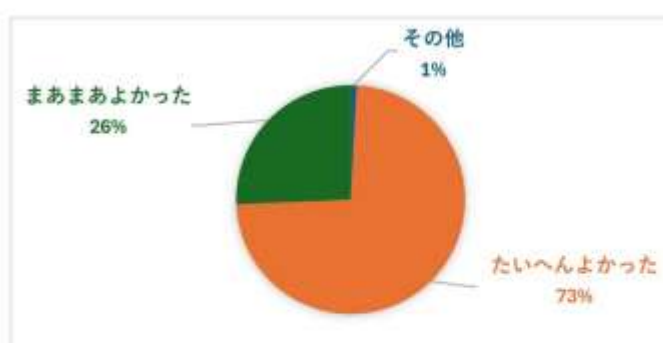


2 あなたのお住まいは	
大阪市外	56
大阪市内	46
北区	24
総計	126



2 (大阪市内)			
阿倍野区	3	中央区	4
港区	1	鶴見区	1
此花区	1	天王寺区	2
住吉区	2	都島区	3
城東区	2	東住吉区	1
生野区	5	東成区	1
西区	2	東淀川区	7
西淀川区	1	平野区	2
大正区	3	淀川区	3

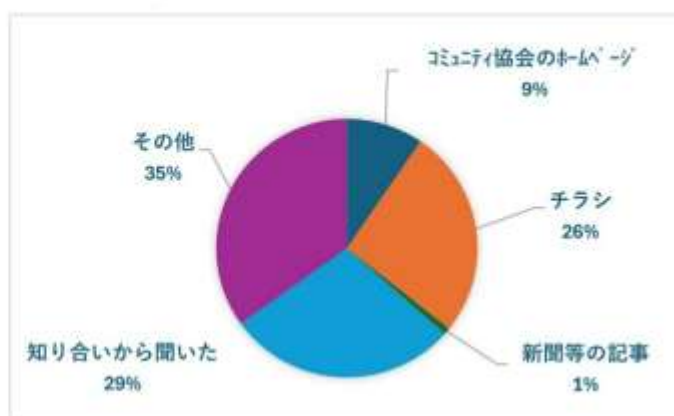
3 本事業をご覧になったご感想は	
その他	1
たいへんよかった	86
まあまあよかった	30
総計	117



3 (その他)	
ふつう	1

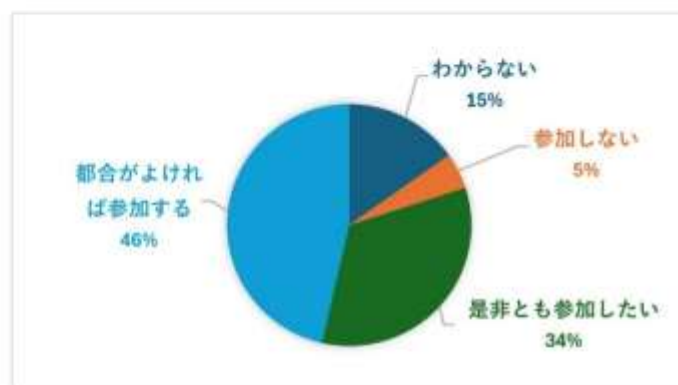
【 落語と絵本のアニヴァーレ 2025 三題噺王決定戦 1st ラウンド 】
アンケート結果

4 本事業を何で知りましたか	
コミュニティ協会のホームページ	12
チラシ	33
新聞等の記事	1
知り合いから聞いた	36
その他	44
総計	126

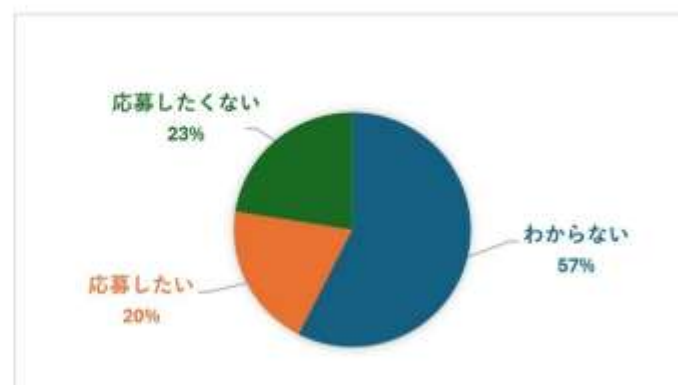


4 (その他)			
SNS	6	広報誌	1
X	3	今日で3回目	1
インターネットの情報	1	昨年も来た	1
コミュニティセンターの掲示、ポスター	4	天満天神繁盛亭のX	1
チケットサイトからの案内メール	1	繁盛亭	2
嫁さんが落語ファンで僕も好きなので来しました	2	毎回観に来ています。楽しみにしています	1
ねたのたね	1	落語協会HP	2
学校	15		

5 三題噺王決定戦に参加希望	
わからない	19
参加しない	6
是非とも参加したい	42
都合がよければ参加する	58
総計	125



6 「はなし画コンテスト」に応募希望	
わからない	69
応募したい	24
応募したくない	27
総計	120



【 落語と絵本のアニヴァーレ 2025 三題噺王決定戦 1st ラウンド 】
アンケート結果(その他感想)

その他	
70年万博の月の石を持ち帰ったのは、アポロ13号ではなく、アポロ12号ですー笑有さん	1
いすを前後でずらして並べてほしい	1
おもしろかったです	4
おもしろかったです。来年も楽しみにしています	1
お題は絵本になり易いのにしてほしい。マウは全員ある方が良い。お題だけだと疲れます	1
お疲れ様でした。楽しかったです	1
クーラーがききすぎていた	1
この会場が駅から遠くて不便に感じます。足が悪いのでつらい	1
とてもおもしろかったです	1
みなさん気にしていらっしゃいましたが、3時間の長丁場もあっという間でした。適度の手づくり感も好感がもてました。女性がいなかったのが、ちょっと残念	1
よかったです	1
会場がクーラーききすぎて寒かった。当日の順番決めにライブでやってほしかった	1
皆様 大変面白かったです。無料で開催してくださり、ありがとうございます。これからも続く会となりますよう応援しています	1
去年の絵本はいつ出来るのですか	1
次回 電子投票にしてほしいです	1
次回もよろしくお願いします	1
次回も楽しみにしています	1
自分の思ってた結果と違った	1
若手のはなし家さんの実力が発揮できていて面白かったです	1
若手実力派が勢ぞろいでとてもレベルの高い会でした	1
初めての参加で、とても興味深く聞かせて頂きました	1
初めて生の落語を体験できました。それぞれの方のトーン、テンポ、お話の内容、とても生き生きとして楽しかったです。また落語会に伺います	1
初めて来ました。とても面白かったです	1
初めて落語を生でみて本当に感動しました。この様なイベントを企画して下さい、ありがとうございます。会場の進行もスムーズで良かったと思います	1
初めて落語を聞いたので、貴重な体験になりました	1
笑利さんの「忍者」慶次朗さんの「魔王」笑金さん「バーチャルアイドル」三実さんの「映画館」この演目で創作落語として、他の噺家さんにも口移しで伝えて、寄席演じてほしいです。審査員による順位(1～5位)とお客さんによる投票が重なった場合の審査の方法が気になりました。	1
笑利さんや笑金さんが決定戦に入ったら観に行きたいのですが、開演時間19時以降だとありがたいです	1
場面の設定がわかりやすい演目が多く良かったです	1
政治の話はあんまりかな…絵本やしね	1
生で見ると一層おもしろいです	1
途中おしゃべりしている人がいて、気になったので注意してほしいです	1
頭にカネ オシャレ	1
味わったことのない良き面白さを体験できました	1
無料で楽しめて It's my dayでした	1
無料とは思えないくらい充実していました。 ありがとうございます	1
無料の力はすごいと思いました	1
力作揃いで楽しく笑えてありがとうございました。	1
冷房が効きすぎて寒かったです	1
冷房が効き過ぎ。去年と同じ	1
話題の幅が若者から年配まで幅広く、歴史的背景も多くて面白かった	1

1. 事業名	北区子ども未来 EXPO in 扇町
2. 事業内容	子どもたちがさまざまな職業や習い事に触れられる体験型イベントとして実施。普段できないことを思いきり体験してほしい、新しい世界を知るきっかけとしてほしいとの思いから始まったイベントです。スポーツ科学体験、お魚カルタ、はいしゃさんになってみよう等、全 15 種の体験ブースの他、家族でまわれる縁日も併せて実施した。
3. 実施日 実施場所	令和 7 年 8 月 23 日(土)・8 月 24 日(日) 午前 10 時 30 分～午後 4 時 30 分 北区民センター・ホール及び会議室
4. 来場人数	延べ 700 人
5. 協力	・週刊大阪日日新聞、プラスカルチャー、アートスクールニコ、日本ほほえみ・思い出アート@協会、フォークダンスねこの会、大阪産業大学鉄道研究部、ミサワホーム近畿、なぎさ学習塾、RoboRatch Factory、マイクロワークス株式会社、ゲンゼ、天六としもり歯科、学童ほなな、STUDIO STAR 大阪天六校、アローズジム、お魚屋さんかぎや、あむれあ、薬局 MANY
6. 次年度の展望	ダンスやアート、模型、工作、科学分野をはじめ、歯科医や薬剤師、ネイリストといった専門職まで、子どもたちの“やってみたい”を刺激するブースがずらりと並ぶイベントとなった。次年度以降も子どもたちには普段できないこと、やってみたいこと、知らないこと・知りたいことを幅広く体験してもらい、知らない世界を知るきっかけになるようなイベントとして継続していきたい。

添付資料⑤ 当日写真





子ども未来EXPOの
詳細はQRコードを
チェック！

お仕事・習い事 合同体験イベント

北区 子ども未来EXPO

in 扇町

入場・体験
無料

たくさん「チャレンジ」をしよう！
「トクイ」と「スキ」を身につけて成長しよう！
自分の「やりたい」と出逢おう！

開催
日時

2025年 8月23日(土)
24日(日)

10:30~16:30

【会場】大阪市立北区民センター
大船メトロ「扇町」駅・JR大船駅・JR「天満」駅から徒歩3分

【主催】子ども未来EXPO実行委員会
一般社団法人大阪市コミュニティ協会
【後援】大阪市教育委員会



体験ブース紹介

ブースを回ってスタンプを集めると、緑日で1回遊べるよ！たくさん体験して、何回でも遊ぼう！

動画に強くなるダンス体験しよう！ 23/24 1人/30分

色んなジャンルのダンス体験ができます！ダンスの練習は、実際に踊って練習タイム！後日、ステージに立つパフォーマンスやアイドルのような動画に、プレゼントします！

【どんな食料？】
からいーダンスや可愛いダンスを楽しく練習しながら、実際に踊って練習タイム！後日、ステージに立つパフォーマンスやアイドルのような動画に、プレゼントします！

【体験】
随時受付
1人/30分程度

はじめてのアート教室体験！ 23/24 1人/15~30分

「夏」をテーマに想像をふくらませ、いろいろな素材にふれながら楽しくオリジナルの作品づくりができます！作品の持ち帰りOK！はじめてでも安心して参加できます！

【どんな食料？】
夏をテーマにしたオリジナルの作品づくりができます！いろいろな素材にふれながら楽しくオリジナルの作品づくりができます！作品の持ち帰りOK！はじめてでも安心して参加できます！

【体験】
随時受付
15~30分程度/1人

パステルであそぼう！色のまほう体験 23/24 4人/30分

パステルでふんわり色あそび！色あそびでも型なしでもOK！やさしい色かたと脳を健やかにする、世界にひとつのアート体験。

【どんな食料？】
パステルでふんわり色あそび！色あそびでも型なしでもOK！やさしい色かたと脳を健やかにする、世界にひとつのアート体験。

【体験】
随時受付
30分程度/4人

かawaiiコスチュームでハイ！ポーズ！ 23/24 3人/30分

いろいろな国の民族衣装を身にまとい気分アップ！ワークダンスを踊る時に身に付ける衣装を選んで写真が撮れます。さまざまな国の文化に興味を持つきっかけにも。

【どんな食料？】
いろいろな国の民族衣装を身にまとい気分アップ！ワークダンスを踊る時に身に付ける衣装を選んで写真が撮れます。さまざまな国の文化に興味を持つきっかけにも。

【体験】
随時受付
各30分

ミサワホーム近畿株式会社 23/24 未定

当日のお楽しみ！

【どんな食料？】
当日のお楽しみ！

【体験】
Just wait!

電車について楽しく学ぼう！ 23/24 2人/5分

鉄道模型(ゲージ)の運転体験ができます。コントローラーで運転できるのって、実際に運転ができますよ！電車クイズで楽しく電車について学びましょう！

【どんな食料？】
鉄道模型(ゲージ)の運転体験ができます。コントローラーで運転できるのって、実際に運転ができますよ！電車クイズで楽しく電車について学びましょう！

【体験】
随時受付
各5分

いつも使わない文房具で書いてみよう！ 23/24 1人/10~15分

ガラスペンや万年筆で実際に文字や絵を書いてみよう。作品は持ち帰りOKです。普段あまり使ったことのない文房具を体験できるチャンス！イラストやメッセージカードなど、自由に書いて楽しもう！

【どんな食料？】
ガラスペンや万年筆で実際に文字や絵を書いてみよう。作品は持ち帰りOKです。普段あまり使ったことのない文房具を体験できるチャンス！イラストやメッセージカードなど、自由に書いて楽しもう！

【体験】
随時受付
10~15分程度/1人

はいしやさんになってみよう！ 23/24 4人/30分

白紙を切って歯医者さんになっちゃおう！実際に使っている器具を使い3つの工程を体験。歯科医による「小児歯科矯正」の無料相談会も実施(13:15~14:45 各30分)！

【どんな食料？】
白紙を切って歯医者さんになっちゃおう！実際に使っている器具を使い3つの工程を体験。歯科医による「小児歯科矯正」の無料相談会も実施(13:15~14:45 各30分)！

【体験】
13:15~14:45
13:15~14:45
13:15~14:45
各30分/4人

自由研究にぴったり！ビー玉迷路作り 23/24 4人/30分

日常生活で出てくる材料を使って、はなな先生たちと一緒にビー玉迷路を作ろう。たくさん想像力を膨らまして、好きなことに没頭しよう！

【どんな食料？】
日常生活で出てくる材料を使って、はなな先生たちと一緒にビー玉迷路を作ろう。たくさん想像力を膨らまして、好きなことに没頭しよう！

【体験】
13:00~13:30
13:30~14:00
14:00~14:30
各30分/4人

ネイリスト体験★ネイルチップを作ろう！ 24/25 8人/60分

色を塗ったり、シールを貼って、オリジナルのネイルチップを作ってみよう！作ったネイルチップはお持ち帰りいただけます。

【どんな食料？】
色を塗ったり、シールを貼って、オリジナルのネイルチップを作ってみよう！作ったネイルチップはお持ち帰りいただけます。

【体験】
10:30に午後の部
13:10に午後の部の
体験受付をします

自由研究にぴったり！自由研究にぴったり！ 23/24 4人/30分

日常生活で出てくる材料を使って、はなな先生たちと一緒に自由研究を作ろう。たくさん想像力を膨らまして、好きなことに没頭しよう！

【どんな食料？】
日常生活で出てくる材料を使って、はなな先生たちと一緒に自由研究を作ろう。たくさん想像力を膨らまして、好きなことに没頭しよう！

【体験】
13:00~13:30
13:30~14:00
14:00~14:30
各30分/4人

お魚カルタで楽しく学ぼう 24/25 1人/15~30分

「お魚さんかき」で実際に販売しているお魚の写真を活用して、「オリジナルお魚カルタ」で遊びながら魚の知識を学べよう！夏休みの自由研究にぴったり！

【どんな食料？】
「お魚さんかき」で実際に販売しているお魚の写真を活用して、「オリジナルお魚カルタ」で遊びながら魚の知識を学べよう！夏休みの自由研究にぴったり！

【体験】
随時受付
5~10分程度/1人

子ども薬剤師体験 24/25 1人/15~30分

薬剤師のお仕事を実際に体験！当日は教育・クリームを混ぜる体験や、お薬を説明する体験、白衣で薬箱を渡す体験を予定しています！(内容は変更になる場合があります。)

【どんな食料？】
薬剤師のお仕事を実際に体験！当日は教育・クリームを混ぜる体験や、お薬を説明する体験、白衣で薬箱を渡す体験を予定しています！(内容は変更になる場合があります。)

【体験】
随時

1. 事業名	キタのまちのニュースレター＜北区ふるさと・地域間交流＞
2. 事業内容	商業施設の更新やホテル増などによる、まちの様変わり「まちの記憶」に着眼し、特にマンション居住者が9割を超える北区の現状や今後も増加する都心居住者らに「新しいコミュニティ」へのヒントになり得るような「たのしみ」や「行動をともにする地区生活者の話」などを中心に構成したニュースレターを発行した。各号では地域コミュニティに関する様々な分野の専門家に執筆を依頼し、北区の魅力を多面的に発信した。また、区内ばかりではなく、北区に立地する道県事務所など広域交流が可能な取材先も取り込んだ。 さらに、新たにコミュニティに参入したいと考えている方が地域の情報を得られるように多くの方に届けるキタの情報を発信した。
3. 発行	No.16：2025（令和7）年春・夏号 No.17：2025（令和7）年夏・秋号（最終号）
4. 発行部数	各 18,000部
5. 編集・発行	北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室
6. 次年度の展望	北区民センターや大淀コミュニティセンターの利用者に対してインタビューを行い、実際の利用者の声を届けることで身近な場所で行われている活動の内容を広く知ってもらうことを目的とし、それに加え、北区民センターや大淀コミュニティセンターの事業等の情報を発信・周知した。 地域コミュニティに関する様々な分野の方や、ご利用いただいた地域団体に出稿協力を依頼し、北区に寄り添い、その魅力を発信し2021年から発行してきたが、このたび新たに「大阪的コミュニティのニュースレター」へと機能を引き継ぐかたちで発展的に解消することとなった。 これまでのご愛読とご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後は「大阪的コミュニティのニュースレター」を通じて、幅広く大阪の町を案内するとともに、引き続き北区の魅力もお届けしてまいります。

KITA NO MACHI NO NEWS LETTER

No.16 2025
春・夏号
[特版]

キタのまちのニュースレター



鳥取砂丘のできかた



キタ歩き日本旅



鳥取県
の巻

全国約半数の道府県事務所が北区「大阪駅前ビル」に！旅の玄関口みたい！！それが「キタ歩き日本旅」です。

大阪・関西万博への誘い。鳥取へ



開催中の(10月13日まで)
大阪・関西万博に「関西パビリオン」がある。「いのち輝く
関西悠久の歴史と現在」を
テーマに、滋賀、京都、兵庫、
奈良、和歌山、鳥取、徳島、
福井、三重の9府県が出席参
加し、各県の個性の強みが
展示されているようだ。

そこで「キタ歩き日本旅」の県事務所への旅は今回、大阪駅前第3
ビルに鳥取県関西本部を訪ね、その企画の中身について取材した。
(写真提供：鳥取県関西本部)

鳥取無限砂丘

なんとなくロマンをかき立てるこのネーミングについては、北区民
センターのお隣さん「カンテレのニュース」などを通じ知っていた。
さらに、現地の鳥取砂丘から約7トンの砂が運び込まれ、来場
者が専用の「虫眼鏡型デバイス」をかざし観光・グルメ・芸芸など、鳥
取県の魅力アイテムを「発見していく」とのことだ。一体どんな試み
が秘められているのか？

それは万博会場に行ってみてのお楽しみだが、「鳥取・無限・砂丘」
という言葉の連なりには、やはりロマンが秘められているような気が
してならない。秘められているそのロマンの実像は「リアルな鳥取に
ある」のではないのか。そんな仮説をもとに取材をはじめた。

〔3ページに続く〕

■バックナンバーの確認→「キタのまちのニュースレター ちょっとだけプラス」で検索！

大淀&北区民センター便り

韓国語に触れてみる！
するともっと楽しくなる!!

K-POPや韓流ドラマを楽しむことが、ひと昔前の「とんがった趣味」でなく、日常のすぐそばにある「楽しみのアイテム」として受け入れるようになり、韓国旅行や大阪・鶴橋のコリアタウンへの気軽な「日帰り旅」も大人気です。そんな日々日常に接するたび、私たちの会館（北区民センターや大淀コミュニティセンター）で、「気軽に楽しめる韓国語教室を」との思いが募りました。「大好きなコト」へのお手伝いがしたかったのです。

「大好きなコト」に対しては、「もう少しだけうまくなりたい」と思う気持ちと、逆に、私だけの時間は「誰にも邪魔されたくない」との考えが錯綜しがちで、二律背反の不思議な関係に陥りがちです。ではK-POPや韓流ドラマを楽しむ際の「もう少しうまくなりたい」とは、一体どんなことをいうのでしょうか？いろいろな考え方があるのですが、私はこう考えていました。……ちょっとした韓国語、何気ない韓国文化に触れると「楽しみが芽え、自分時間の深みが増し、人生のゆとりも増す」のではないかと。

そんな時、思いがけない出会いがありました。なんと、「気軽に楽しめる韓国語教室があったらなあ〜」との思いにピッタリの方に出会えたのです。

出会いとは、時それぞれの背景的な環境や、ジャスト・イン・タイムの偶然により、その後の「お付き合い」に発展するかどうか決まるといっても過言ではありませんが、まさに願ってもない出会いでした。その方の名は南延秀（ナム・ジョンズ）さん。すでに、京都や奈良で韓国語・市民教室のご経験があり、今度は「ぜひ大阪で、韓国語教室を」との願いを持たれている方でした。

「ナム先生の韓国語教室」その詳細は、このニューステターの最後「編集後記」に記しています。さあ！一緒にいかがですか！！



文化に気軽に触れる工夫！写真は那一画「舞う・ナム先生」
但し、先生に触れてはいけません！?

見慣れた風景 まち歩き

水墨画で世界を描く？

インバウンド観光の高まりは日々日常の風景になり、「えっ？」と思ってしまうような場所にも観光客の姿が普通になりました。そんな中、本紙4ページ「浪花百景歳時記」の「道行ナビゲーター」橋爪節也先生の元職場・大阪大学総合学術博物館で《大阪大学総合学術博物館 特別展 松本奉山—水墨画で世界を描く—》が4月26日から開催されます。氏は現役バリバリの日本美術史家で館長をされていた方です。

この《松本奉山展》を検索しURLを拝見してみると、日本美術の奥行や幅広感がすぐ目の前に迫ってくるような感覚になります。……奉山は「水墨画で自分の描きたいものが描けるのか」という葛藤を抱えていましたが、昭和38年（1963）の初渡米をきっかけに新たな画境を切り開き、前例のない水墨画を作り上げました。……（原文まま・抜粋）

今号の「浪花百景歳時記」執筆は「編集室」となっているのが残念ですが、この美術展は、これまでそのほとんどを執筆してくださっている同・博物館研究支援推進員の波瀬山祥子さんの担当とお聞きました。

「こんなところ・あんなところ」にまで入り込んでくるニッポン観光への人気には、意外に思うことが多々ありましたが、この《松本奉山展》のガイダンスを見て、なぜか納得してしまいました。会場など、詳しくは同『松本奉山展』URLでご確認ください（入場無料）。

ちなみに、毎年11月初旬開催の北区民センター「浪花百景タペストリー展」は大阪大学総合学術博物館の先生方のプロデュースを仰いでおり、先生方のワークショップもご紹介します。お楽しみに!!





《1ページから続く》

大山ロマンのひとつ：大山まきば みるくの里

鳥取砂丘の成り立ち

かくも雄大な鳥取砂丘の成り立ちは、鳥取県の広報URL【イラスト「鳥取砂丘のできたかた」】で確認できる。この図は日本海から中国山地を眺望し解説がなされている。いつも見ている「南から」ではなく「北から」の眺めだ。その視点が新鮮で、とても分かりやすく超おススメだ。

それによると、このそもそもの砂は、①中国山地の岩石（花崗岩・安山岩・玄武岩など）が風化作用を受け、もろくなって砂となり、②砂は雨に流されて千代川によって運ばれ、日本海へと流れ、③日本海の海底に堆積した砂は沿岸流と波の働きによって岸へ打ち上げられ、④打ち上げられた砂が強い北西の風によって内陸へと運ばれ、これらが長い年月繰り返されることで鳥取砂丘ができました。……とある。

万博会場に運び込まれた本物の鳥取砂丘の砂は、触るととてもサラサラで気持ちがいいらしい。さらに、この「無限砂丘」では、「魅力発見」の様々なアイテムと共に、プロジェクションマッピングなども駆使し、鳥取の風景や星空などが映し出されるとのことだ。

聞けば聞くほど、鳥取という場所の可能性を「無限砂丘」を通じ、表現しようとしているのではないかということに思いが至る。本物の「本物」が気になってくる。なぜなら、「リアル鳥取」に魅力がなければ、ロマンはすぐにしぼんでしまうからだ。

では、大阪・関西万博の「鳥取無限砂丘」に優る、リアル鳥取のロマンの実体は一体全体どんな所にあるのだろうか？

無限への旅・とっとり旅ロマン

北区の大阪駅前ビル群には日本全国47都道府県のほぼ半数にもなる道府県事務所（鳥取県では「関西本部」と呼称）が立地し、各県の事情により強弱はあるものの、観光・産業立地・物産・リターンやリターン移住などの促進（推進）などにあたっている。鳥取県関西本部では、そのいずれに対しても手厚くまんべんなくアプローチされているようだったが、ここでは、「鳥取無限砂丘」の「無限」に注目し、観光分野に焦点を絞ってお聞きた。

以下に、その取材から得た内容を「無限への旅・とっとり旅ロマン」というイメージに込め、旅のガイド風に書き綴った。

（1）無限の「無限」

鳥取県は東西に長く、東から続く海岸美が途切れたかと思うと海の手前に鳥取砂丘が現れる。ところが砂丘と海は、どこでどうつながっているのか？……この風景に「無限」という表現を感じる。

砂丘から西に向う。北側（右手）はどこまでも続く日本海、南側（左手）はたおやかな緑が連なる中国山地。そこに国道9号とJR山陰本線が並走している。このルートをとると、「自然環境と地域社会が一体」となったニッポンの無限のようなものを感じてしまうのはなぜだろう。

（2）海と山・砂の魅力と土のチカラ

少し西に進むと今度は一転、雲峰・大山が目に飛び込み、壮大な山野の風景が広がってくる。大山の標高は1,729メートル。この裾野は日本海に直接つながり、海と陸との境目が海岸線であることが実感できる。ここでも……どこまでが山でどこからが海か……これも無限だ！

その大山の裾野は高原地帯そのものだ。この「ぐるり一周」には、牧場やペンション群をはじめとした、地域生活者の多種多様な「リゾートの営み」が古くから点在する。流行に左右されない、ゆったり穏やかで持続可能な観光の姿が大山に宿っている。

大山の土は、鳥取砂丘の白っぽく美しい砂の色目とは異なり、黒色の力強さが特徴だ。それは、「くろぼく」と親しみを込めて語られる黒ボク土で、火山灰と腐植物質が混ざり合った「大山からの贈り物」。養分に富み、畑作に適していることから農作物のあじわいは格別で、それらを気軽に購入できる道の駅「大山恵みの里」も魅力だ。大山の美味しい水も超有名！

（3）とっとりのクリエイティブ

さらに足を延ばす。南都・米子市から北に向かうと弓ヶ浜。その名も美保湾という風光明媚な海と海岸線が続く。魚が旨い境港はもうすぐそこだが、忘れてならないことがある。そこは、大阪市生まれで境港育ちの漫画家・水木しげるさんの故郷、ゲゲゲの鬼太郎と出会えることだ。

地域一体のこの取り組みは1993年に誕生した「水木しげるロード」で有名。境港駅から水木しげる記念館まで約800m続く妖怪の道には、いまや200体にも迫る妖怪ブロンズ像が旅人を出迎えてくれる。

そう！鳥取県の中ほど北栄町は、名探偵コナンを生んだ漫画家・青山剛昌さんの出身地だった。鳥取の無限とは、このような大自然の無限に育った悠久の文化そのものなのかもしれない。



（4）無限への旅・とっとり旅ロマン

ふらっと訪ねることもたやすい大阪と鳥取は思いのほか近い。だから一度と言わず二度三度。1泊と言わず2泊、3泊の「たびたびの旅」にうってつけた。紙幅の関係ですべてを紹介することはできなかったが、夏は意外や意外「避暑にも最高！」の目的地で、バラエティーに富んだ美術館や博物館めぐりも楽しい。

内緒だが……「道の駅めぐり」では、山海の品々が、ごく普通に美味しくリーズナブル。「あつというモノ」に出会える。実は「買い出しツアー」というのも隠れた人気で、無限への旅・とっとり旅ロマンのヒミツのおススメ……この収穫を逃す手はない。（このページは、鳥取県関西本部を取材させていた後、その内容を「キタのまのニュースレター編集室」の文責で「旅仕立て」に編集したものです。）

鳥取県関西本部

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1-3 大阪駅前第3ビル 22階 ☎06-6341-3955
営業時間：8時30分～17時15分（土・日曜日、祝日、休日、12月29日～1月3日を除く）

浪花百景歳時記

キタのまちのニュースレター編集室

「大阪自慢の水辺」は、ここから

第九十四景 天満樋の口 芳雪画

今も昔も桜之宮は桜の名所。対岸の島屋は桜宮神社でしょうか。左の茶亭も「花の家」です。提灯にある片仮名の「ヨ」を四つ組んだ模様は、作者の南校亭芳雪の「よし」を「ヨ」×四であらわしたものだ。大川をはさんで桜花満開に心もウキウキ。筆やかで画面も洒落ています。

進行ナビゲーター 大阪大学名誉教授 橋爪節也



この連載のナビゲーター・橋爪節也先生の編著、『原寸復刻「浪花百景」集成』（発行・創元社）によれば、天満樋の口は、「天保九年（一八三八）に幕府が北東側へと掘り進める工事を実施、現在の北区樋之口町に樋門を設け大川と通水した」と紹介されています。それまで堀留となっていた天満堀川を大川まで通し、前号で紹介した「さくらのみ宮」とともに大川沿いに桜並木が整備され、対岸とあわせた桜の名所になった。……とも。

天満堀川の「源流」は現在の北区喜原町に

たどることができそうですが、堂島川から水を導き、その先が行き止まりの堀川では汚濁が激しかったことが容易に想像できます。そのどんづきの先、大川（旧・淀川）へと堀を延ばしたことで、名実ともに堀川になり水質も改善されたのでしょう。

舟運を利用した堀川沿いの乾物問屋は日本有数の商いを誇り、大小の間屋さんの荷役の中心は（汚濁は激しいものの）水面穏やかな店奥の船着き場でしたから、大川と通水してしまうと流量が激しくなり困ってしまいそうなものですが……そこは淀川……高低差がなく流れが穏やかで「まるで水が凝っているように見える」淀川・淀川の面目躍如、引き続き穏やかだったようです。

東京の文化人が淀川を指し、「水がよんどんで汚いことを自慢し、それをそのまま淀川と命名する大阪人はよっぽど酔狂な人だらだ」と、ある月刊誌で揶揄していたことがありましたが、おあいにく様。この淀川の意は「水の流れが穏やかなることを表現しての」淀川です。論より証拠には、この付近は、水清く穏やかな流れを利用した「水売り」の水面だったし、銀橋のすぐ上流側では、秀吉がこの付近で茶会を催したことを記す石碑もあります。その名も「青湾」……なんと美しい名でしょう。

堂島川の岸辺が気持ちよく散歩できる空間に整備され、この天満堀川の源との出会いも日常になりました。堀川のルートは、ここから阪神高速下の道路になってしまい名残は失せますが、天神橋筋商店街に「平成の夫婦橋」が平成十二年（二〇〇〇）に再現されています。この先が「天満樋の口」です。

いま現在、大阪市立の小学校でもつとも歴史ある小学校は明治六年（一八七三）創立の堀川小学校です。この「樋の口」の名残は賑々と堀川の地に刻まれています。

編集後記

ナム先生の韓国語教室の概要です。お気軽にご参加ください。5/5（月）からスタートです。

■毎週・月曜日10時～11時

■参加費5月・6月分合計4,800円（7月からは3ヵ月ごとの金額となります）委細詳細お問い合わせ下さい。

問い合わせ先：大淀コミュニティセンター【担当・高田】
電話：06-6372-0213（会場住所・メルアドは右欄参照）

■編集・発行：北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室

■指定管理者：一般財団法人大阪市コミュニティ協会

■発行月：7月・10月・1月・4月の各月下旬発行

北区民センター 〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27
✉ kitakumin-center@abelia.ocn.ne.jp

大淀コミュニティセンター 〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2
✉ oyodo-comini@abelia.ocn.ne.jp

KITA NO MACHI NO NEWS LETTER

No.17 2025
夏・秋号

キタのまちのニュースレター



昨年の「落語と絵本のアンヌアーレ1stラウンド」ファイナル風景。

左端、上方落語協会・会長、笑福亭に智郎の当日は、毎回「例会・進行」に難しきり、私たちと同じ思いでこのイベントを背んで来てもらっています。

コミュニティで出会う上方落語の世界

私たちは、「コアな落語ファン」ではないかもしれませんが、でも、落語という現在進行形の芸能が「生き物」でもあり、今という世の中とどう向き合っているかによって、面白かったりやや辛気臭かったり、「その囃の成否」が分かれがちであることは知っています。

だから、落語を称して「口」に「新しい」と書き「囃」という漢字が存在し、落語家に加え「囃家」という呼び名が生き続け、囃は「今という世の中・コミュニティ」に近接する。親しみの中に生き続けてきた芸能として、いつも新しい歴史を刻んでいるのだと思います。

『落語と絵本のアンヌアーレ』も4年間にわたり過去4回、今年は5年目の5回目です。絵本と落語？……「えっ？ どんな組み合わせ？」……と、聞き返されることが多かった、そんなコンセプトでスタートしたこのイベントも回を重ねるごとに盛り上がり、毎回少しづつですが、階段を登ってきました。上方落語協会（会長：笑福亭仁智さん）と共催でやり続けてきたこのコミュニティ・イベントは、その名のごとく、「この企画から新しい囃を世に放ち、それが絵本

として皆さんの手に届く」ことを目標に立て、やり続けてきた企画です。ところが、絵本化への道のりは考えていたよりも、ずっとずっと遠いものでした。今回それが叶います。

そして、今年・第5回「落語と絵本のアンヌアーレ1stラウンド」に参加する囃家さんも決定しました。

林家染吉、桂あおば、桂福枝、桂慶治朗、桂三実、笑福亭笑利、露の新幸、桂健枝郎、月亭希遊、桂笑金、桂八十助、笑福亭笑有、以上12名、ごつい強力なメンバーです。会場は、大淀コミュニティセンター 1階ホール。9月23日（火・祝）の開催です。「落語と絵本のアンヌアーレ」を検索していただくと公式HPにヒットします。そこに「観覧申し込み」の案内が出ています。（会場定員に限りがございます。お申し込みはお早めに！）

絵本のことをもう少し……これが絵本かどうか、それとも落語本と表現すべきか？ それは本を手にした人の感じ方にお任せしますが、9月中旬頃には、このコミュニティ・イベントから誕生した、その名も『落語と絵本のアンヌアーレ』と名付けた本が世に出ます。発刊日など詳細は、『落語と絵本のアンヌアーレ』公式HP上で告知いたします。お楽しみに！！

Q 落語と絵本のアンヌアーレ 検索

■バックナンバーの確認→「キタのまちのニュースレター ちょっとだけプラス」で検索！

そんなことができるのか？

北区民センターが主催する催しの中に「浪花百景タペストリー展」があり、今年も11月最初の連休(11/1～3)に開催予定です。この企画は、日本美術史がご専門で江戸期幕末に描かれた錦絵・浪花百景の研究者でもある大阪大学名誉教授の橋爪節也さんらの調査成果と助言を頂きながら「今のコミュニティと結び」親しみやすい内容に工夫を凝らしつつ、今年で第5回目を迎えます。

浪花百景の原版はほぼA-4サイズの大ききで、それを高精細に16倍(A-0サイズ)に拡大。かつ、耐久性のある布地にプリントし「浪花百景タペストリー」が完成します。今年で70景が揃います。眺めるだけでも楽しめますが、全部をパーテーションに吊るしてのワークショップは、より楽しいものです。ただ、昨年、困ったことになりました。吊るす「パーテーションの数」が足りないのです。さて、どうしよう？

昨年は何とか乗り切りましたが、今年はもう「このやり方では対応不可能」なことが明らかでした。橋爪先生にも相談し、今年は「こんなやり方」でということになりました。会場はこれまでよりずっと広い2階・ホールフロア全体を使用。パーテーションも一部使用しながら「ホール・フロア全体と舞台」を活かし、展示手法に工夫を凝らす。です！

概略方針だけは決まりましたが、簡単ではありません。さらに検討しこんな方針になりました。多色の養生テープで簡単・簡便に大阪市図をフロアに描く⇒タペストリーを大阪市図の位置に平置き、「景」が立て込んでいるエリアではパーテーションも使用⇒ホール舞台上から「浪花百景を眺めつつワークショップ⇒「さあ、これから街歩き」と、舞台から降り立ちホール・フロアでの街歩きを楽しむ。そんな趣向です。

ただ、企画が企画倒れにならないかととても心配しています。これから「図上演習」を繰り返さなくてはなりません。さてどうなりますか？



2024年11月「橋爪先生のワークショップ風景」

大阪大学と酒

4ページの「浪花百景歳時記」は、今号から「大阪大学ミュージアム・リンクス 大阪大学適塾記念センター」准教授の松永浩先生にご担当していただけることになりました。

「適塾」とくれば緒方洪庵ですが、松永先生は阪大の公式グッズ銘酒「緒方洪庵」のブランディングを担当されました。「緒方洪庵」は愛媛県西予市にある酒蔵・緒方酒造が造っていましたが、2018年の西日本豪雨で被災したため、銘柄が阪大に引き継がれたそうです。

「緒方洪庵と酒」で検索すると色んな詳細情報と出会えます。また、「阪大と酒」でも様々な情報が出てきます。さらに、松永先生の著書(編著)ものづくり 上方「酒」ばなし―先駆・革新の系譜と大阪高等工業学校醸造科―(大阪大学総合学術博物館叢書8)では、もっと、もっと詳細な「阪大と酒」のことが紹介されています。2012年出版のこの本はネット通販で気軽に購入することができます。そういえば、2014年放送のNHK朝の連続テレビ小説「マッサン」の制作にもかかわられたそうで、そもそも……阪大工学部の前身・大阪高等工業学校には戦前、日本唯一の醸造学高等教育機関である醸造科が設置され、酒造業界に多彩な人材を輩出し、その大阪高工醸造科出身の代表的人物が日本人初のウイスキー蒸留技師で、ニッカウヰスキー創業者の竹鶴政孝……なんだそうです。

このように、松永先生は酒の研究はもとより、「お酒を通じた交流文化」にも精通されており、それはフィールドワーク型(飲んで語り合い「談論風発」を深めるスタイル?)だとお聞きました。ちなみに、大阪高等工業学校は北区中之島5丁目の付近にあったそうです。

北区堂島にはサントリー本社もあります。「浪花百景歳時記」とは何の関係もないようですが、浪花百景には「お酒にまつわる絵」も少なからず存在しています。

今後の連載、楽しみです！





キタ歩き日本旅

群馬県
の巻

全国約半数の道府県事務所が北区「大阪駅前ビル」に！旅の玄関口みたい！！それが「キタ歩き日本旅」です。



はるかな尾瀬 / 上の写真「高崎だるま」(写真提供:2点とも群馬県)と「お蕎麦」(写真提供:富岡市)

群馬県の県庁所在地は前橋市。その前橋市から電車で約1時間のところに富岡市があり、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」があります。一見して、「大阪市とご縁があるの？」ましてや「北区とは？」ところが……こじつけでも無理やりでもなく……『富岡製糸場と東洋紡』で検索すると一発で、「AI」がこんなことを教えてくれます。

富岡製糸場と東洋紡は、日本の近代化における重要な役割を果たした二つの施設です。富岡製糸場は、明治政府が設立した官営模範工場として、日本の近代的な製糸技術導入の先駆けとなりました。一方、東洋紡は、渋沢栄一らが設立した大阪紡績を前身とし、関西の紡績業発展の中心的役割を担いました。(以下省略)

もちろん渋沢栄一は新1万円札の「あの渋沢栄一」。東洋紡は北区に本社を置き続けている日本と大阪を代表するモノづくり企業です。

渋沢栄一は旅の達人でもあり、民俗学者・宮本常一を支援し続けました。宮本常一は「忘れられてしまうかもしれない」昭和40年代までの日本の全国・津々浦々を旅し、日本の習俗的な価値を正真正銘歩き廻って調査し、「膨大な記録」を残しました。著書「忘れられた日本人」は特に有名ですが、宮本は在野の「時」を大阪で暮らし、中之島刺先の天神橋を渡り切った(今もある)郵便局にも勤めています。

モーレツに暑いニッポンの夏は「避暑の旅」に出かけたい。渋沢さん(あぁ一万円札)が何人必要かはさて置き、日本型リゾートの先駆けが草津温泉とその周辺に広がっている。1980年代後

半から1990年代初頭にかけてのバブル景気は「リゾート」という欧州生まれの余暇概念を広めたが、「バブル」がはじけると「この表現」も霧散したかのごとくであった。ところが、日本型リゾートの先進地・群馬では、その言葉も概念性も生き生きと継承され続け、そのような先進性をもつ群馬県では今、県民全体で「心と身体を癒す旅」を提唱し、それは『リトリートぐんま』として公式サイトで紹介されています。

日本型リゾートの先進地・群馬で『リトリートぐんま』。なんだか語呂が素晴らしい。「渋沢さん」と友達になれそうな気がするし、「避暑の旅」がグン・グン・グン・グン身近な気がします。旅は「まず気分から!」。「渋沢さん」は遠くても、群馬県大阪事務所に行けば群馬の観光パンフレットは気軽に入手できます。群馬県は近い、まずはココから! (文責:キタのまちのニュースレター編集室)



400年以上の歴史! 伊香保温泉(写真提供:群馬県)

群馬県大阪事務所:〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 ☎06-6341-5303
オープン(平日のみ)8:45~17:00 定休日:土日、祝日、年末年始(12/29~1/3) 詳しくは電話でお問合わせください。

浪花百景歳時記

大阪大学ミュージアム・リンクス
大阪大学通塾記念センター

准教授 松永和浩

淀川を三十石船で下ってきた旅人が「記念に購入？」……

第九十六景 「長柄三頭」 歌川国貞画

「浪花百景」には、高橋の「三嶋江」やら守口の「佐太村天満宮」など、浪花と呼ぶには疑問な大坂近郊を描いた作品がある。現在の毛馬の閘門の付近である「長柄三頭」もその一例で、淀川を三十石船で下ってきた旅人が、記念に購入することを狙った作品かもしれない。古い地図で見ても二つの河川が分岐する面白い地形である。

進行ナビゲーター 大阪大学名誉教授 橋爪節也



「関西の水脈」琵琶湖から「茅渚の海」大坂湾まで流れる淀川は、大坂市内では梅田の北を通過している。しかし近代以前には、天満の南を通過して中之島に至り、大坂湾に注ぎ込んでいた。新旧淀川の分岐点こそが、長柄三頭なのである。

江戸時代の名所案内「淀川両岸一覽」(一六一年)にある通り、長柄三頭とは、旧淀川(大川)と長柄川とも呼ばれた旧中津川(新淀川)が分岐する地点で、北方向に伸びて両川を隔てていた砂州を指す。近世にはここを中継点に、長柄の渡しと毛馬の渡しが設けられ、北摂方向へ向かう人々が渡し船で行き来した。

本作の下部には渡し船が描かれ、中央部を横切る長柄三頭、その手前を淀川が北から南へ(画面右から左へ)、奥を中津川が西へ流れている。遠景に妙見山(能勢町・豊能町・川西市の境界)を望むこの場所は、風光明媚な地として知られていた。妙見山の頂上には能勢妙見堂があり、近世中期から京・大坂より参詣者が多く集まった(摂津名所図会)。妙見山への参詣路である能勢街道は、天神橋から長柄の渡しを越え、在郷町・池田(現・池田市)を経由して能勢妙見に至った。

長柄三頭の砂州は現在の北区長柄中付近から伸び、江戸後期には四丁(約400メートル)にも及んだという。明治十八年(一八八五)の陸地測量部地図では、東岸の毛馬村(現・都島区毛馬町・大東町)の南端辺りまで砂州が伸び、その延長に中州が同村中央から北端辺りまで広がっている。しかし明治四十二年の陸地測量部地図では、中州は残るものの、砂州は姿を消している。というのも、明治十八年に発生した大洪水を機に、明治二十九、四十二年にかけて大規模な淀川改良工事が行われた。長柄三頭付近には毛馬洗堰・毛馬閘門が設置され、旧淀川(大川)は流量の調整が可能となり、中津川(新淀川)は川幅調節メートル超のほぼまっすぐな放水路となった。これにより、長柄三頭の風景は失われてしまったのである。

長柄三頭は明治期に失われたが、この辺りに架かり古代には既に失われた長柄橋は、人柱伝説も相俟ってそのはかなさを偲び、西行や藤原定家をはじめ多くの歌人に詠まれた歌枕でもあった。現在では淀川改良工事に關わったオランダ人技師デ・レーケや「日本の治水港湾工事の始祖」沖野忠雄の顕彰碑、工事の際に川から引き上げられた大坂城の残念石、旧毛馬閘門・洗堰(国指定重要文化財、土木学会選奨土木遺産、与謝蕨村の生誕地・句碑が点在している。

編集後記

前号このページの本文 11 行目から始まる内容は『その天満堀川は大坂湾の干満に応じ、通水の上下流がその時々で真逆となり、あたかも「源流」かと見紛うような痕跡が北区菅原町にたどることがありますが、……』と記述すべき所、正真正銘《上流域「源流」》と誤解を生む記述でした。この点、お詫びし訂正させていただきます。なお、このご指摘は北区山崎町の「O様」から、暖かな励ましと共に頂きました。ありがとうございます。

■編集・発行：北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室
■指定管理者：一般財団法人大阪市コミュニティ協会
■発行 月：7月・10月・1月・4月の各月下旬発行
北区民センター 〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27
☒ kitakumin-center@abelia.ocn.ne.jp
大淀コミュニティセンター 〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2
☒ oyodo-comini@abelia.ocn.ne.jp

1. 事業名	扇町マナビバ マナビバ・フラ・カンファレンス<環境循環型コミュニティを表現し楽しむ>
2. 事業内容	フラの学びを高めあうことにより地域コミュニティがより豊かになることを目的とした、“フラでつながるコミュニティイベント”を3月29日に北区民センターで実施した。 イベントは開演前に1Fロビーにおいてウェルカム・フラを実施。Mo' oleo o Hawai' i (ハワイの神話)をテーマに第一部では神話を元にしたフラソングとフラのステージ。第二部ではコンペティションを模した形式でメインと入退場の曲をメドレーとして提供。各曲の前には選曲した講師がソロを踊り、曲の解説も行った上でフラを初めて見る人達にもわかりやすく、魅力が伝わる構成を組み立てた。
3. 実施日 実施場所	○令和8年3月29日(日) 北区民センター ホール
4. 来場人数	延べ約300名
5. 出演	□ハーラウ オ リリノエ □ハラウ オ カホークー オーリノリノ □ハラウ フラ オ カモク オピオ オカラニ □ハラウ フラ オ メハナ
6. 次年度の 展望	今年度は前年度に引き続き来場人数が多く、老若男女問わず多くの方に訪れていただけた。 2022年より5年間実施してきたが、各フラ教室の先生や生徒の方々を一堂に集めての実施は困難になってきていた事もあり、残念ながら本年度を持ってマナビバ・フラ・カンファレンスは幕引きとなった。

添付資料⑪ 当日写真

<マナビバ・フラ・カンファレンス (3月29日@北区民センター・ホール) >



1. 事業名	<発見！うちのまち 浪花百景タペストリー展 「扇町マナビバ」 フォーラム事業>
2. 事業内容	大阪の昔の風景を描いた「浪花百景」の内、上町台地・難波駅 南北エリア・北区周辺の3つのエリアを橋爪節也大阪大学名誉教授、船越幹央大阪大学総合学術博物館副館長、波瀬山洋子大阪大学総合学術博物館研究支援推進員によるワークショップを開催した。 全100景中70景の大判タペストリーを展示し、自由に観覧していただくことで大阪の町の今昔を体感していただけるよう試みた。
3. 実施日 実施場所	○令和7年11月2日(日)～3日(月) 北区民センター ホール
4. 来場人数	延べ約35名（ワークショップ参加者）
5. 協力	・大阪大学教授 橋爪節也氏 ・大阪大学総合学術博物館 副館長 船越幹央 ・大阪大学総合学術博物館 波瀬山祥子氏
6. 次年度の展望	江戸後期の大坂を描いた図版集「浪花百景」の原画（100枚の風景錦絵）を、高精度で大判のタペストリーに施し毎年度ごとに20点(景)程度追加して「企画展示」を実施した。 幕末の大坂の町の様子や庶民の姿が生き生きと描かれ、後年の開発と戦災で姿を消した川や橋も多数見られる図版により、大阪の今昔を知るきっかけの一環とし江戸時代の「古き良き大坂」にタイムスリップしてもらいながら、商都浪花の賑わいとそこで暮らす市井の人々の営みを一瞬の「景」でとらえた『浪花百景』の世界を読み解き、見る人が『今のまちに求められる視点』を検証もらえる糧にしよう。

添付資料⑫ 当日写真

<浪花百景展示・ワークショップ>



第二景「今橋つきちの風景」

無料

令和7年
11月2日 日 展示時間 10:00 - 15:00
3日 月・祝 9:30 - 15:30

浪花百景 タペストリー展

発見！うちのまち

「浪花百景」は江戸期幕末の錦絵で、時代を切り取った風俗・文化の図画集であり、その時代の「観光フォト」でもあります。この原画は約A-4サイズですが、私たちは約16倍のA-0サイズに精密拡大して見ることにしました。

本企画は今年が5年目の区切りでなんと70景（全100景中）ものタペストリーが描き詰め。そこで今回は、そのすべてを北区民センターホールで一気に展示。この機会に浪花百景で「うちのまち」を発見しませんか！

指さした先には……？

11月2日(日) 特別企画

「発見！うちのまち」 15:00
ワークショップ 17:00

事前申込制(定員35名)・資料代:500円

- 大阪大学 名誉教授 橋爪 節也 先生
- 大阪大学総合学術博物館 副館長 船越 幹央 先生
- 大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員 渡瀬山 祥子 さん

第三十一景「野田暮」

申込みはこちらから▼

第五十二景「三大橋」

第七十四景「長町裏遠見難波蔵」

**北区民センター
2階 ホール**

大阪市北区扇町2-1-27
 ■Osaka Metro 堺筋線 「扇町」駅 2号・3号出口北へ3分
 ■JR環状線 「天満」駅 西へ3分 北区役所隣

観覧のみの場合はお申込みが不要です。展示時間中はどなたでも自由にご覧いただけます。

■主催 : 北区民センター・大淀コミュニティセンター
 (一財)大阪市コミュニティ協会/同・都市コミュニティ研究室
 ■協力 : 大阪大学総合学術博物館
 □問合せ先: 北区民センター TEL:06-6315-1500
 都市コミュニティ研究室 lee-ry@osakacommunity.jp (担当・李)

感想
大阪の景が美しく展示され興味深く楽しめました。
床に置かれている物は見にくい気がします。
近所の昔の様子など楽しめました。
続けてください。
興味深くおもしろかったです。
先生方のお話が分かりやすく楽しい北区をはじめ大阪の歴史を知ることができた
3者の解説の人が楽しく説明頂き百景の見方が変わりました。
大変興味深いお話で楽しく勉強になりました。天王寺のガイド活動に活かれます。
大変おもしろく聴かせてもらいました。是非引き続きお願いします。
浪花百景を詳しく勉強したいと思っていたところでした。橋爪先生のツッコミところが楽しく一歩踏み出せそうです。ありがとうございました。
一枚一枚の場所が既知の所でその昔のありようを話されるのがとても、面白かったです。
3人の講師の先生のお話が分かりやすいです。
大変楽しかったです。知らないことを知るという楽しさです。来年も続けてください。楽しみにしています。
来年も楽しみにしています。
下に置くと見にくいのが気になります。現在の地名も分かりやすくとても良かったです。大変美しく良かったです。ありがとうございました。
初めて見せていただきました。光味があってもよく分からなかったので大変楽しく見せていただきました。次は是非ワークショップに参加したいです。
大変興味深く見学しました。北区のボランティアガイドをしておりエピソードの先も知り度思いました、この企画は以後も続けていただきたいです。
色遣いがきれいで昔の文化や生活が伺えて楽しかったです。丁寧に説明して下さり楽しめました。ありがとうございました。